

2021年度 中央アジア・コーカサスセミナーの実施

財務総合政策研究所では、2006年から、中央アジア・コーカサス諸国の財務省等の若手幹部候補生を日本に受け入れ、「中央アジア・コーカサスセミナー」を実施しています。本セミナーでは、参加各国の人材育成を支援することを目的として、政策講義に加え地方視察も含めた財政・金融関連諸機関の訪問等を実施し、日本の財政・経済制度に関する知識を提供するとともに、参加各国の財政当局間のネットワークを形成する機会を提供しています。

一般の世界的なパンデミックに伴い、2020年度はセミナーの開催を中止せざるを得ませんでした。2021年度は、12月20日（月）～12月24日（金）の日程で、オンライン方式により実施し、ウズベキスタン、アルメニア、アゼルバイジャン、ジョージア、キルギス、タジキスタン及びトルクメニスタン（順不同）の中央アジア・コーカサス7カ国から、財務省職員等8名が参加しました。

各参加国と日本との時差があること、オンライン方式

によって開催することなどを踏まえて、講義時間は従来から縮小し、日本の財政・金融・税制の各分野の研究者・専門家による政策講義を実施しました。また、政策講義以外では、各国の参加者による自国の経済・財政状況に関するプレゼンテーションを行い、各参加者の間で熱のこもった意見交換が行われました。

〈中央アジア・コーカサスセミナー議事次第〉

〈1日目（12月20日（月））〉

・開会挨拶

栗原毅 財務総合政策研究所 所長

・講義：日本経済について：概観

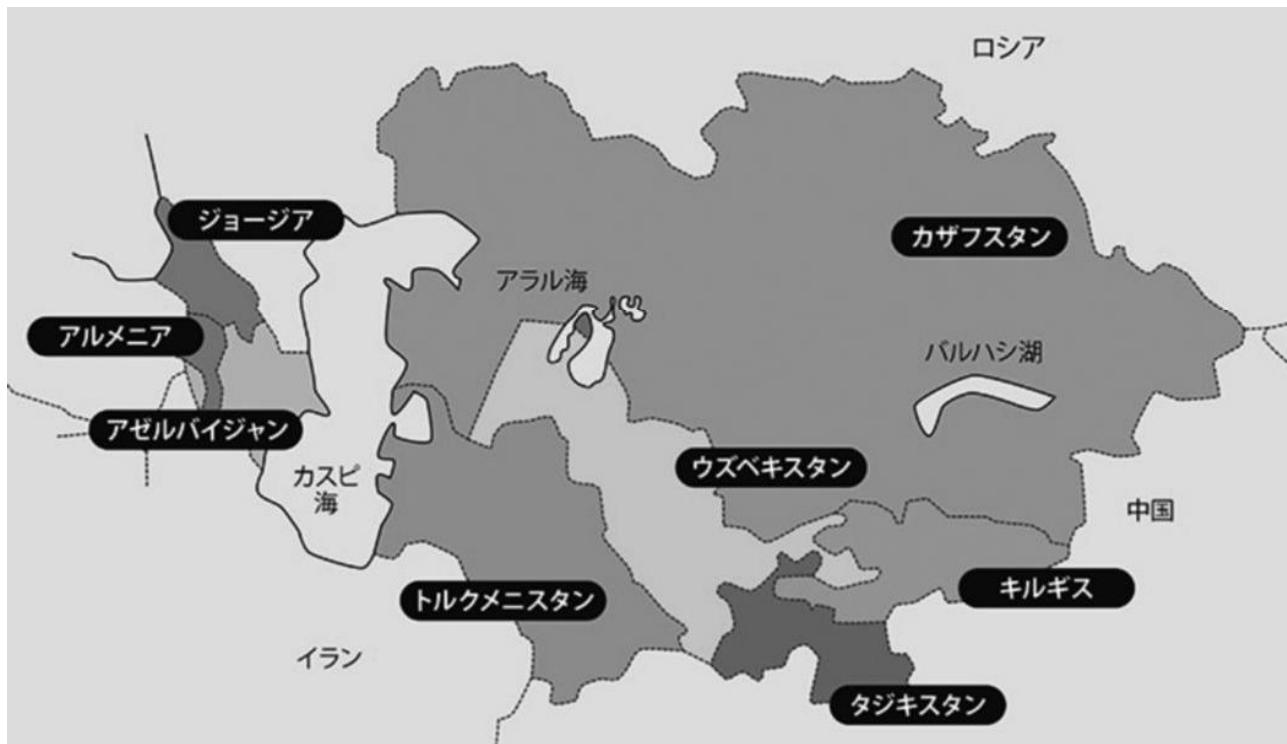
講師：上田衛門 慶應義塾大学 商学研究科
教授

〈2日目（12月21日（火））〉

・講義：国際課税の最近の動向

講師：本田光宏 筑波大学 大学院ビジネス
科学研究群 教授

【中央アジア・コーカサス諸国】



出所：独立行政法人 国際協力機構「キーワードは多様性 中央アジア・コーカサスってどんな所？」
(https://www.jica.go.jp/publication/mundi/1704/201704_02_02.html)

- ・プレゼンテーション（アゼルバイジャン、タジキスタン）

〈3日目（12月22日（水））〉

- ・講義：日本の金融財政政策
講師：吉野直行 金融庁 金融研究センター
センター長
- ・プレゼンテーション（ジョージア）

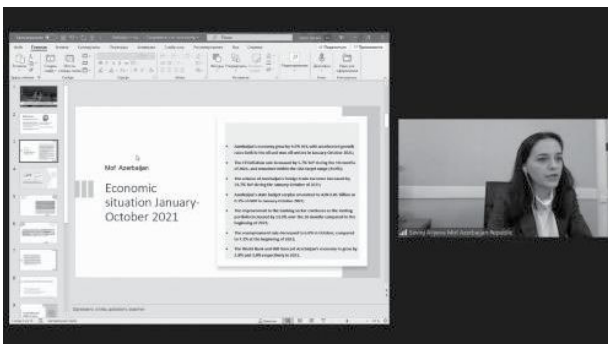
〈4日目（12月23日（木））〉

- ・講義：公共支出管理：日本の経験と国際比較
講師：田中秀明 明治大学 公共政策大学院
ガバナンス研究科 教授
- ・プレゼンテーション（アルメニア）

〈5日目（12月24日（金））〉

- ・講義：新型コロナ危機と中央アジア・コーカサス経済の課題
講師：河合正弘 東京大学 公共政策大学院
客員教授

コロナ禍では、人と人とのつながりを新たに構築することが難しい環境にありますが、オンラインでの講義と意見交換によって、参加国の財政等担当者との人的交流を深めることができました。今後も、こうしたセミナーの開催を通じて、参加国の更なる発展に貢献していきたいと考えています。



【参加者のプレゼンテーションの様子】



【政策講義の様子】

プロフィール

財務総合政策研究所 国際交流課企画調整係長
赤嶺 彰一

2009年に熊本国税局に入局。2014年から財務省で勤務しています。財務省では、主にG7等の先進国のマクロ経済情勢や金融政策動向についての調査などに従事してきました。2020年7月から財務総研に勤務しています。

財務総合政策研究所 国際交流課研究員
田中 祥司

2017年にリベラ株式会社へ入社し、総務部へ配属。2020年より、財務総研の研究員を務めています。

財務総合政策研究所 国際交流課係員
岩崎 智亮

2018年に東京税関に入関。2021年7月から財務総研に勤務しています。

